

◆真琴のチューニングのコツ・名人への道◆

電子チューナーはA（ラ）=444Hz 基準設定を推奨しています♪

クロマティックチューナー（平均律）では、基準ラ（A）=444Hz設定の場合、愛の周波数528Hzは上のC（ド）になります。

※合奏の場合指導者の指示に従ってください

はじめに

慣れることが早道なので、感覚がつかめるまで、繰り返し取り組みましょう。

調律は楽器と、自分自身を調える作業でもあります。

室温が低いと弦が伸びませんので、10°C以上に室温を温めてから、チューニングしましょう♪

工夫してみましょう

★真琴のチューニングピンの横にマスキングテープなどを貼り音名を書いておくとうわかりやすいです。またはチューニングピンの横に置く音階カードを作る

★色分けの糸、カラーモール（6分の1ぐらいにカットしてピンに巻く）でわかりやすくしておくといいと思います。

例) ドは赤 レは黄色 ミは橙色 ファは黄緑 ソは青 ラは紫 シは桃色

※メモリの単位はセント、12平均律では隣り合う音（半音）は100セント

誤差は10セントを超えすと違和感につながります

シャープ（半音あがる）記号 # フラット（半音さがる）記号 b

●異名同音・電子チューナー表記を覚える

D#はEbで表示されます A#はBbで表示されます

●手を洗いご挨拶、深呼吸 精神統一

チューニングマットを敷いてください。楽器は右利きの方はチューニングピン側を右側に来るように置いてください。（弦が3回転程巻き付いているピンです）

電子チューナーは、自分の体の正面、楽器の手前に置くとやりやすいでしょう。

弦を左手、指、またはピックを使い単音で弾いてみてチューナーの針と音の表示を見てください。

メーターの中央の位置に針が止まり緑ランプがつくのが理想です。誤差を